

ひしもにた 議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



りんご組



ぼなな組

親子大会 馬山保育園

あなたと議会を結ぶ
確かな情報と信頼

主な 内容	第2回定例会	2
	一般質問	3~6
	委員会報告	6~7
	広域圏NEWS	7
	町民の声	8

平成27年度一般会計補正予算(第1号) 1億552万円追加し、 総額49億9,852万円

第2回定例会

▼開会日・一般質問 (6月9日)

会期を16日までとする決定を行い、4名の議員が、耕作放棄地、地方創生、町のあるべき姿・将来像、ふるさと納税など、町政のさまざまな課題について質問を行いました。

▼議案・陳情の上程 (10日)

平成26年度繰越明許費繰越計算書等3件の報告の後、下仁田町税条例の一部を改正する条例等5件の専決処分を承認しました。更に、条例改正案など7件を上げ、平成27年度2

▼総務常任委員会・ 予算決算特別委員会 (10日)

会計補正予算を予算決算特別委員会に、陳情1件の審査を総務常任委員会に付託しました。

▼閉会日・採決 (16日)

各委員長が付託議案等の審査結果報告を行い、採決の結果、委員長報告のとおり可決しました。また、陳情は採択、意見書を可決し、閉会しました。

6月定例会審議結果

議案名	備考
専決処分の承認を求めることについて(下仁田町税条例の一部を改正する条例)	全会一致
専決処分の承認を求めることについて(下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	全会一致
専決処分の承認を求めることについて(下仁田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例)	全会一致
専決処分の承認を求めることについて(平成26年度下仁田町一般会計補正予算(第6号))	全会一致
専決処分の承認を求めることについて(平成26年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第4号))	全会一致
下仁田町固定資産評価員の選任について	全会一致
下仁田町財政調整基金、その他の基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町体験交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
町道路線の変更について	全会一致
下仁田町過疎地域自立促進計画の変更について	全会一致
指定管理者の指定について	全会一致
下仁田町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	全会一致
平成27年度下仁田町一般会計補正予算(第1号)	全会一致
平成27年度下仁田町ガス事業会計補正予算(第1号)	全会一致
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書	全会一致

第2回定例会では議員提出の「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書」が可決され、町議会の意思として、国会や関係機関に意見書を提出しました。

町政を問う

一般質問



永井 正之議員

耕作放棄地について

国は重税を検討中

議員 耕作放棄地の現状と原因は。

産業観光課長 平成26年度数値で397ha、増加の一途でございませう。原因は、高齢化、後継者不足、農産物の価格低迷、高収益の農産物が無いこと、有害鳥獣被害等が挙げられます。

頭数の激減策を

議員 原因の一つとして猿対策は。

産業観光課長 中小坂に70頭、東野牧方面に30頭いて、増加傾向にあります。猟友会に捕獲依頼をしていますが、

町内で仕事をしている会員が少なく、早急な対策は困難であるようです。

町長 鳥獣被害に対しては、鋭意協力を求めて話し合いをする中から、頭数の減少に向けた方法を協議しているところです。また、地域の問題として捉え、協力してもらえればと思います。

議員 自然保護団体等からの圧力は。

産業観光課長 猿については、愛玩動物みたいな感じで捉えられているところがあるようです。



増加する耕作放棄地

農業は町の基本

議員 農業振興を含めた対策は。

町長 大変難しい問題です。各関係機関と協議し、計画的な土地利用と、農地の有効利用促進、農業を支える人づくりの担い手確保、六次産業での環境づくりなど、下仁田の自然と風土を活かした農業振

議員 「囲いワナ」の設置を。

産業観光課長 猟友会と協議し、検討したいと思います。



捕獲された猿

興を図っていきたくと思っています。このことが、耕作放棄地の拡大防止や、有害鳥獣対策につながっていくべく、推進していきたい

議員 国・県からのメニューがある聞きましたが、町から継続的に発信してもらいたいと思います。



高瀬 政信議員

ふるさと納税について

議員 ふるさと納税が、

4月1日から新しい制度で始まったが、現在

までの実績は。

地域創生課長 4月1日からの実績ですが、5

月末までの2か月間で、申込件数が371人、金額が643万円、1人当たりの寄付額平均は1万7300円です。

議員 町に寄附していた

だいた方について、町内在住者と町外在住者の比率は。

地域創生課長 これまでのところ、町内の方は1件、町外の方が371件です。

子育て等支援について

議員 厚生労働省の人口

統計調査で、2014年に県内で生まれた子供の数は1万4522人で、過去最少となりました。特に下仁田町は、人口1000人に對する出生数は2・6人と県内の自治体で低い方から3番目で、人口減少に歯止めが掛からない。町で出生数を上げる対策は。

健康課長 出生率だけで

なく結婚の率も上げていかなければ、出生率を上げていくことができません。町長からも指示されており、出会い交流の場づくり実行委員会に任せるだけでなく、町でも考えてい

議員 町には空き

家がたくさんあります。町で空き家の持ち主と話し合い購入、リフォームして、町内外の若い子育て世代の人たちに住んでいただき、町の子供を増やしていただければありがたい。



子育て応援教室「あそびの時間」

介護保険制度について

議員 国では介護保険

サービスの一部移行について、2017年度までに段階的に市町村に移すと言っている。町も2017年度あるいは2019年度に移行すると聞いている。地区によって、介護する若い人たちが少なく、みんな要支援1・2になろうかという人

が増えていく。そういった対策は。

健康課長 サービスの内

容については、下仁田町介護予防、生活支援サービス連絡調整会議を立ち上げて、町の地域課題を把握し、必要なサービスを検討していきたいと考えています。

地方創生と行革について



岩崎 正春議員

議員 行政サービスを維

持するため、必要な人口はどのくらいの目標値なのか。

町長 人口減少の歯止め

を模索し、その一助として、大きな力となっていたべく副町長を選任させていただいて、今までの群馬県、下仁田を見る目、よそから見る目と、そして群馬県、下仁田に住んで、下仁田の良さを肌で感じていただいた中から、町の特徴を活かせる、そんな施策を一日も早く提案をまとめて実行に移していきたい。

議員 事業決裁のスピー

ドアップを図るための制度改善はあるのか。また地域おこし協力隊員2名のほか追加して募集する予定はあるか。

地域創生課長 2040

年までにはこの自然減の数が約5000とい

地域創生課長 決裁のスピードアップという点では、専決が1つであります。

特に町長の判断を仰ぐもので急を要する場合は、持ち回りという形で、直接町長に口頭で報告して判断を仰ぐというふうな方法をとっております。

地域おこし協力隊員は、町に2名来ていますが、国も地域おこし協力隊員の増員計画がある



地域おこし協力隊員

というふうな情報を得ております。その場合に素早く対応できるように、追加の募集、採用の計画が、副町長から指示が出まして、これに着手をしているところですよ。

文化財保護について

議員 文化財の数ほどのくらいあり、現在、保護の必要性のある文化財はあるのか。

教育課長 国指定史跡の荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡1件、県の指定史跡の高橋道斎の墓1件、町の指定史跡、重要文化財、天然記念物を合わせて23件の合計

25件あります。

議員 副町長が福岡からわざわざおいでになって、下仁田町が地方再生の成功事例になるということが、町にとっても、副町長にとって一番良いことだと思いますので、できる支援はさせていただきます。

町のあるべき姿、将来像について



島崎 紘一 議員

議員 2040年に町の人口は3847人に減少するとの推計であるが、現状の減少だと2030年には国の予想に達する。この現実をどう捉えているか。

町長 非常に懸念している数値で、歯止め的なものを模索しながら少子化対策、定住化対策等々に実現すべく努力しているところです。

議員 地域創生のリーダーとして具体的な計画、構想については、雇用を創出して地域を活性化させる事業として山林の整備、除間伐の促進、年間安定供給出来る無農薬野菜の供給、地域ブランド

移住者として選択していく余地がある。

うきは市役所を退職して来ているので戻る気持ちはない。移住できるような環境もしっかりと持って地方創生に取り組んでいきたい。家族が呼べるような形がとれば最高かなと思っている。

地域創生課長 働く場所と生活環境だと思おう。生まれた町は良い所だったと大人になって言えること。

議員 それぞれの理由、条件を政策に生かすことが重要だ。住んでいる人達の幸福度、魅力度ランキングが向上しないと政策が生きてこない。その観点からは。

町長 人口減少に伴い保育園民営化、統合小学校等を進めてきた。今後はより良い面を活かしての地域連携、だと思っている。

議員 数年前から下仁田町議会が中心となって近隣町村議会との協議会を発足させ交流を深

めている。町村間の連携は。

副町長 地域連携には様々な地方創生関連の施策が出ている。多野郡、甘楽郡と一緒にやって取り組んでいく事が大きなポイントです。自治体だけでなく産学官連携の推進も図っていきたい。

議員 下仁田町が、核となって少なくとも南牧村、上野村、神流町との地域連携は早急にやるべきでは。

町長 すぐに取り組めるのは道の駅を中心とした観光と位置付けており、その踏み出しをしたいと思います。

議員 メリットが明確にないと住民の理解も得られない。商工観光業、農林業、教育等々各組織の代表、首長、議会を含めた地域連携プロジェクトチーム編成の考えは。

町長 地域創生に絡めて一緒に進めていきたい。
議員 高齢化の進む地域対策の取り組み状況

総務常任委員会

本会議において付託された

陳情1件を審査しました。

は。

総務課長 行政の伝達機能の低下を防ぐ為にも

直接郵送も必要であり、集落支援員の増員

は不可欠で月初めの巡回を依頼し、町からの

配布物をお願いするのも可能。防災対策については、新たに町消防

団の事業として避難ルートの確認、消防訓練等を予定している。

区長会議においても防災について地区で話し

合い連絡網を確立し、災害時に戸惑うことな

く行動、対応出来る様お願いしている。

議員 人口減少が世帯数の減少、空き家の増加

につながっている。町の空き家状況と対策について。

地域創生課長 空き家状況については、6月に

各区長さんに状況調査を依頼している。空き

家は負の資産という事ではなく有効利用出来る所は積極的に働きかけ賃貸借又は売買等広い視野で活用していきたい。

議員 人口減少、地域創生問題について重要案件かどうかの判断は、決めるところが決めで、組織としての指揮命令系統をより充実させ乗り遅れないよう取り組んでほしい。

町長 職員一致の町の活性化対策に副町長を中心として取り組んでいきたい。各方面からのご指導、叱咤激励を賜りたい。

◇第2回定例会では4名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。なお、各議員の未掲載の質問等は、会議録でご覧になれます。



予算決算特別委員会主な質疑

◆平成27年度下仁田町一般会計補正予算(第1号)

歳入▼▼▼

問 財政調整基金繰入金

の内容について、歳出と併せて説明願いたい。

答 歳出補正予算額に対

◆陳情第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元することを求める意見書採択に関する陳情書

委員から国の負担割合が引き下げられ、教職員

定数も減らされたことにより、地域の財政力で教育に格差が生ずるのは問題で、義務教育は国が堅持する必要があるとの意見があり、慎重審査の結果、全会一致をもって採

択された。

問 ふるさと下仁田応援基金の残高見込みは。

答 平成26年度末残高から基金繰入額を差し引き、今回の補正額3600万円を積み立てた場合の平成27年度末残高は、約4800万円となる見込みです。

問 荷倉沢線工事に関する起債の繰上償還を補正に計上しなかったのか。

答 補助金額の確定を待って、起債の繰上償還の手続きを行い、9月補正で計上させていただきます。

問 現在把握している数値は、概算で500万円弱を見込んでいます。

答 旅費20万は東京等への副町長旅費として、概算で計上。需用費は、リースで所有する庁用車の燃料費です。

問 公用車は何にするのか。公用車リースのメリット・デメリットは考えたのか。

答 7人〜8人乗りのハイブリット車を考えています。デメリットもありますが、予算執行で一度に支出が発生しないなど、予算執行の平準化が行えます。また、燃料費以外の経費を全てリース料に含め

ることで、事務の軽減も図れますので、最終的なメリットが大きいと判断しました。

問 経費などすべてリースとしてよいのか。

自動車税など窓口で収めると言っている。タイヤなどはどうするか。

答 契約の際、点検等、町内業者で賄えそうな事は町内業者で行うように盛り込む事を考えています。また、税金などについては、よく精査したいと思いません。

問 ふるさと下仁田応援寄附金の寄附及び返礼状況と今後の見込は。

答 本日現在409件、715万円の寄附金の申し込みを受けています。返礼品は、神津牧場のバター及び乳製品の希望が非常に多く、下仁田ねぎの予約やヘルシーこんにやくセツトも一定の希望があります。今までの実績に基づいて、今年度の寄附金を4000万円と

して補正予算計上してあります。これからの下仁田ねぎの季節には、多くの寄附金があることを期待しています。



ふるさと納税パンフレット

問 一般町道改良に載っているのは工事費だけか。

答 以前話をした平成25年災害倉沢線の期限内にできあがらなかった部分と、上流側で崩れた部分を合わせた工事費を計上してあります。

問 全協で起債の返還の話が出たが、金額はわかっているのか。

答 来月くらいに成功認定調査を受けてから正式に金額が決まるので、額が確定するのはその後になります。

問 補正での工事に補助

金はあたっていているのか。

答 補助金はなく、すべて町費です。

◆平成27年度下仁田町ガス水道会計補正予算(第1号)

問 ガス事業費の補正は林業センターの空調工事の事業費によるものか。

答 産業観光課の空調工事の事業費によるものか。

問 収益はどのように計算しているか。

答 GHPなど器具販売収益については、仕入れ価格の1割を計上しています。これは内規で規定しています。

問 企業として、この工事金額からしたら、もう少し収益を出してもいいのではないか。

答 機器購入部分で収益を出しています。取付工事費部分については、同じ役場内でもあり、技術供与的な面でもあるので、収益を上げることはできません。

広域圏NEWS

富岡甘楽

広域議会定例会

広域議会は、6月22日、臨時会が開催され、人事案件他2議案が上程され可決された。

議長の選挙

富岡市議会議長の堀越英雄氏

議案

◆財産の取得について

消防ポンプ自動車(緊急消防援助隊設備整備費補助金対象事業) 3769万2000円

◆財産の取得について

消防ポンプ自動車(緊急防災・減災事業債対象事業) 3855万6000円

◆監査委員の選任

甘楽町議会議長の佐俣彦氏

富岡甘楽地方議会

議員連絡協議会総会

5月22日、下仁田町公民館で今年度定期総会が開催された。富岡市、下仁田町、甘楽町、南牧村各議会議員が参集した。来賓の小林富岡副市長、郡町村会長茂原甘楽町長から祝辞をいただき、盛会となった。

へと移った。今年の研修会は、下仁田町出身の写真家 田村仁先生による講演が行われた。演題は「アジアを撮る」昭和42年から、東南アジアの取材に出て以来、全アジアで民族文化、宗教美術等テーマに取材を続け、40年に及ぶ取材内容(そこに暮らす人々の生活や信仰の姿)を写真家ならではの視点から、スライド写真を使っていた。



富岡甘楽地方議会総会

町民の声

下仁田荒船太鼓



あじさい園オープニングでの演奏

会長 鈴木 英男 さん

青空の下、威勢良く掛け声とともにバチを振り下ろす。

先日もあじさい園オープニングで演奏させていただきました。

演奏後の拍手や「やっぱり太鼓はいいね!!」など言われると「次もがんばりますので、また呼んでください」などと調子にのって返事をしてしています。

あじさい園以外でも、神津牧場花祭りを始め、夏祭りなど町のイベントや地域の納涼祭や知り合いの結婚式など年間10回程度のステージに出演させていただいています。

荒船太鼓も平成2年に活動を開始し今年で25年となります。会員も初期から続けている者は数名となりましたが、時折加入している新団員や、町や皆様のご支援で何とか現在まで活動が続いています。昔、太鼓の音で子守唄代わりに聞いていた、赤ちゃんは今では主力メンバーになっていたりしています。

最近では子育て中のお母さん方の加入もあり、練習日には練習しているお母さんの隣で、子どもが真似て太鼓を叩いたり、他の子どもと遊んだり、ほのぼのとした雰囲気です。ご興味のある方は毎週水曜日午後7時頃から文化ホールで、練習しておりますのでお気軽にお出かけください。財政難で太鼓の皮も張り直せない会ではあります。和太鼓を通じて、できる限り

町内外に下仁田町をPRし、活動を続けていきたいと思っておりますので、皆さん応援をお願いいたします。これからも日本の響きと太鼓をたくさんの人に聞いていただけるよう努力していきます。



議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

次の定例会は9月の予定です。
議会傍聴をお待ちしています。
日程などのお問い合わせは

☎64-8810



編集室から

議会だより第70号をお届けします。

本号は、平成27年6月定例会について編集しました。

皆様方に出るだけ見やすく、読んでいただける紙面作りを心掛けておりますが、お気

づきの点やご意見、ご要望がありましたら、広報発行特別委員会までお知らせください

- 広報発行特別委員会 委員長 永井正之
- 副委員長 千野榮治
- 委員 原 秀男
- 岩崎正春
- 高瀬政信
- 佐藤勇二